



ヴィーガン賞 大谷 ゆみこさん
(つぶつぶグランマゆみこさん)

雑誌が主役のヴィーガン・ベジタリアン食「未来食つぶつぶ」を開発・提案。



料理家賞 中島 デコさん

マクロビオテック料理の第一人者である料理研究家。多くの講演・著書を通じてマクロビオテックの普及に貢献している。



医学賞 土田 満さん

愛知みずほ大学大学院教授・医学博士。研究・講演・出版等を通じてベジタリアニズムの啓発に尽力。日本ベジタリアン学会功労賞受賞・日本ベジタリアン学会理事。



ミートフリーマンデー賞 小野 篤人さん

(株)染野屋代表取締役社長。ミートフリーマンデー活動や講演を通じてベジタリアニズムに貢献。注目のベンチャートップ8に選出。日本ベジタリアン協会評議員。



アニマルライツ賞 岡田 千尋さん

アニマルライツセンターで調査・広報・戦略などを担い、2003年から代表理事。畜産や毛皮、環境問題の講演、ヴィーガン推進サイト Hachidory の運営も行う。



ジャーナリスト賞 淡路 和子さん

『MUSIC LIFE』『ポールマッカートニー 2015年来日公演完全レポート号』を共同編集し、「ベジタリアンの音楽」の章を取材執筆。ミートフリーマンデーの啓発をメディアを通じて行うジャーナリスト。



市民活動賞 望月 祐佳さん

設立から7年目を迎える学生&社会人の野菜食育団体 MeanlinkGroup 総代表。個人としても企業やNPOを通じて幅広く飲食を絡めた心身の健康提案を行う。



企業賞 CHOICE(チョイス) 鈴木 晴恵さん

生産方法や産地にこだわった食材・調味料で調理方法にもこだわったヴィーガン・グルテンフリーのメニューを提供する、京都のヴィーガンカフェ。ヴィーガンチーズはイベントで即完売になる人気商品。



企業賞 (株)かるなあ 余語 啓一さん

長年ベジタリアン・ヴィーガン食材を販売すると共に、全国的に菜食の講演や料理教室を開催し、ベジタリアニズムの啓発に努めている。日本ベジタリアン協会・学会への支援や活動等も行う。



企業賞 中一素食店 李 健福さん

『医食同源 台湾式菜食レシピ』を出版し、全国に台湾ベジタリアンレストランを展開する台湾素食の第一人者。日本ベジタリアン協会評議員。



第1回日本ベジタリアン・アワード 受賞者発表 レセプション華やかに



第1回 日本ベジタリアン・アワード大賞 鶴田 静さん

日本におけるベジタリアニズム啓発のバイオニアで、菜食文化研究者・エッセイスト。

このアワードは、ベジタリアニズムを広げるためにさまざまな活動を行う市民や企業・団体を対象に、その貢献を讃えるものとして制定された。第1回となる今回のアワードには、日本ベジタリアン・アワード審査委員会(垣本充審査委員長)が選出した77名(企業含む)がノミネートされ、その中から、栄えある**大賞**には、日本におけるベジタリアニズム啓発のバイオニアで菜食文化研究者・エッセイストの**鶴田静さん**が選ば

れた(NPO法人日本ベジタリアン協会(垣本充代表、大阪)主催の**第1回日本ベジタリアン・アワード**(後援/日本ベジタリアン学会、協賛/キラジエンヌ(株)、㈱フードジャーナル社、企画運営/東京・名古屋・京都ビーガングルメ祭り運営事務局)が、2月7日、久屋大通庭園フラリエで開催された。

企業賞 不二製油(株)様
わが国最大級の製油および大豆たん白メーカー。世界に先駆けてヴィーガン対応の豆乳クリームを開発し「ものづくり日本大賞・経済産業大臣賞」を受賞。学術研究だけでなく、ベジタリアン市民活動を支援している。

表彰式後に行われたレセプションには100名以上のベジタリアンニズム関係者が集い、受賞者を讃えるとともに互いの交流を深めていた。
近年、世界中で増えていると言われるベジタリアン人口だが、その動きは日本でも例外ではない。あらゆる分野で活動するオールジャパンのベジタリアンを対象とする賞が制定されたことは、日本のベジタリアン史に残る大きなエポックであると言えるだろう。